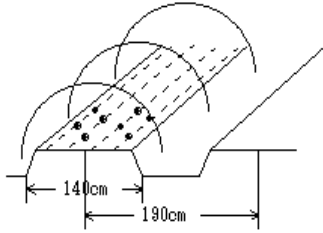


契約レタス

月	旬	作型	主要作業	栽培の要点	摘要																																																							
8	上	凡例 播種	品種の選定	作型(収穫時期)や栽培形態(トンネル栽培、施設栽培)に応じて、品種を適切に使い分ける。	【品種例】 冬シスコ等 【育苗・生育期間例】 <table border="1"> <thead> <tr> <th>播種日</th> <th>定植予定</th> <th>収穫予定</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>9/15.</td> <td>10/ 8.</td> <td>12/10~</td> </tr> <tr> <td>9/20.</td> <td>10/15.</td> <td>12/25~</td> </tr> <tr> <td>9/30.</td> <td>10/25.</td> <td>1/15~</td> </tr> <tr> <td>10/10.</td> <td>11/ 5.</td> <td>2/1~</td> </tr> <tr> <td>10/15.</td> <td>11/10.</td> <td>2/20~</td> </tr> <tr> <td>10/20.</td> <td>11/16.</td> <td>3/ 5~</td> </tr> </tbody> </table> 収穫期は、通気や気象条件などにより前後する。 【育苗資材例(10a当たり)】 <table border="1"> <thead> <tr> <th>種 子</th> <th>コート種子Lサイズ1.5缶</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>プラグトレイ</td> <td></td> </tr> <tr> <td>規格</td> <td>128穴</td> </tr> <tr> <td>必要枚数</td> <td>55枚</td> </tr> <tr> <td>裁 土(購入)</td> <td>与作N-100等</td> </tr> </tbody> </table> 【好適温度条件】 <table border="1"> <tbody> <tr> <td>発芽適温</td> <td>20 前後</td> </tr> <tr> <td>生育適温</td> <td>15 ~ 20</td> </tr> <tr> <td>結球適温</td> <td>15</td> </tr> </tbody> </table> 【土作り対策】 ・レタスの好適土壌はpH6.5である。 ・土づくりのため、完熟堆肥2t/10a以上の投入と深耕を実施する。 ・たい肥類の確保が困難な場合は、5月下旬~6月上旬にソルゴーを播種し、7月中~下旬(出穂前)に鋤込む。 【施肥例】 (10a当たり) <table border="1"> <thead> <tr> <th>肥料名</th> <th>全量基肥</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>完熟たい肥</td> <td>2,000kg以上</td> </tr> <tr> <td>ミネリンパワー</td> <td>100kg</td> </tr> <tr> <td>レタス14号</td> <td>180kg</td> </tr> </tbody> </table> N:P:K=25.2kg:28.6kg:18.0kg 土壌分析に基づき、適正な施肥を行う。 【栽植密度】 <table border="1"> <thead> <tr> <th>畦幅 (cm)</th> <th>株間 (cm)</th> <th>条間 (cm)</th> <th>条 数</th> <th>栽植密度 (株/10a)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>190</td> <td>30</td> <td>30</td> <td>4</td> <td>7,000</td> </tr> </tbody> </table> 千鳥植え 目標収量 3,000kg/10a 	播種日	定植予定	収穫予定	9/15.	10/ 8.	12/10~	9/20.	10/15.	12/25~	9/30.	10/25.	1/15~	10/10.	11/ 5.	2/1~	10/15.	11/10.	2/20~	10/20.	11/16.	3/ 5~	種 子	コート種子Lサイズ1.5缶	プラグトレイ		規格	128穴	必要枚数	55枚	裁 土(購入)	与作N-100等	発芽適温	20 前後	生育適温	15 ~ 20	結球適温	15	肥料名	全量基肥	完熟たい肥	2,000kg以上	ミネリンパワー	100kg	レタス14号	180kg	畦幅 (cm)	株間 (cm)	条間 (cm)	条 数	栽植密度 (株/10a)	190	30	30	4	7,000
	播種日	定植予定	収穫予定																																																									
	9/15.	10/ 8.	12/10~																																																									
9/20.	10/15.	12/25~																																																										
9/30.	10/25.	1/15~																																																										
10/10.	11/ 5.	2/1~																																																										
10/15.	11/10.	2/20~																																																										
10/20.	11/16.	3/ 5~																																																										
種 子	コート種子Lサイズ1.5缶																																																											
プラグトレイ																																																												
規格	128穴																																																											
必要枚数	55枚																																																											
裁 土(購入)	与作N-100等																																																											
発芽適温	20 前後																																																											
生育適温	15 ~ 20																																																											
結球適温	15																																																											
肥料名	全量基肥																																																											
完熟たい肥	2,000kg以上																																																											
ミネリンパワー	100kg																																																											
レタス14号	180kg																																																											
畦幅 (cm)	株間 (cm)	条間 (cm)	条 数	栽植密度 (株/10a)																																																								
190	30	30	4	7,000																																																								
中	x	育苗管理 床土準備	鉢上げがよく、根鉢が崩れない床土を使用する。																																																									
下		播 種	継続出荷のために、播種は数回に分けてこまめに行う。 育苗箱は排水性のよいもの(底穴が多いもの)を使用し、プラグトレイに床土をしっかりと詰め、コート種子を1粒ずつ播種し、覆土は、ごく薄く均一に行う。 トレイは通風のよい雨よけされた場所で、角材等の上に置く(エアブルーニング効果)																																																									
9	上		発 芽	播種後1~2日で発芽するので、直ちに被覆物を除去し、屋外に出して日光に当て徒長を防ぐ。																																																								
	中		灌水・追肥	乾燥すると生育が遅れるので、高温期は朝充分に灌水する。乾燥が甚だしい場合は夕方にも灌水する。 肥切れすると回復が難しいので、葉色や生育に応じて追肥を行う。																																																								
	下		本圃管理 定植準備	灌水可能な圃場を選定する。風当たりの強い場所では防風対策を図る。 土壌分析による適正な土壌改良および施肥を行う。 定植20日前までに完熟たい肥・土壌改良資材(石灰質資材、リン酸質資材)の施用並びに深耕を済ませる。 土塊が生じないよう、砕土を充分行う。特に水稲跡作地では根株を充分に細断しておく。 排水不良圃および水田では、高畦(20cm以上)とし、排水溝を設置する。																																																								
10	上	x		降雨後の土壌水分が充分にある状態でマルチを張る。																																																								
	中		マルチング	降雨が少なく、土壌が乾燥状態の場合は、夕方に充分灌水を行い、翌日マルチを張る。 マルチングは、日中に行い、たるみを防ぐ。																																																								
	下	x		苗到着後速やかに定植する。適正苗:3.5~4葉 浅植えとし、定植後直ちに株元灌水(500倍液肥)を行い、早期活着を図る。 定植後、苗がマルチ下に潜ったときは、速やかに表に出す。外葉が生育するまでは、マルチ上に直管パイプ等を乗せ、株の潜りやマルチの飛散を防止する。																																																								
11	上		定 植	病害では菌核病、軟腐病、斑点細菌病、害虫ではネキリムシ類、アブラムシ類、ヨトウ類、タバコガ類等が発生するので予および初期防除を結球期までに徹底する。																																																								
	中		害虫防除																																																									
	下		保 温	12月から3月までは、ビニールや防霜資材(バスライト等)を被覆して生育を促進するとともに、寒害・霜害や玉のしまり(石玉化)を防ぐ																																																								
12	上		収穫・調整	しまりのよいものから若どり収穫し、外葉を4~5枚つけて切り取り、切り口を上にして圃場で伏せて風乾する。 風乾後、外葉1枚に調製し、切り口に0.5%の食塩水を塗布し、コンテナ詰めする。																																																								
	中		予 冷	品質低下を防止するため、調整後直ちに予冷を行う。																																																								
	下																																																											
2	上		生育ステージ温度管理																																																									
	中		生育ステージ	被覆管理のポイントと温度の目安	留意点																																																							
	下		結球開始まで (外葉形成期)	<ul style="list-style-type: none"> 平均気温が10、最低気温が5を下まわる頃(12月10日前後)を目安に保温を開始する。 トンネル、施設内温度が15~20となるよう朝夕の換気作業を行う。 外気温が10以下の時は、外葉の生育を促進するため積極的に保温を行う。 	高温(25以上)で管理すると葉が暴れ、タケノコ球や不結球が生じる。																																																							
3	上		結球期 ~ 球形成期	<ul style="list-style-type: none"> 結球が始まったら、換気作業を徹底し、トンネル、施設内の温度を15前後とし、球形成を促す。 																																																								
	中		球肥大期 (収穫2週間前 ~収穫期)	<ul style="list-style-type: none"> こぶし大の球になったら、霜害を受けないように、ビニール被覆やバスライト等のべた掛けを行う。 トンネル、施設内は18程度と高め温度で管理する。 	低温による石玉にならないよう保温する。																																																							
	下																																																											